

もみじ福祉会 ニュース

がんばるうや

2003年3月 第33号

発行/社会福祉法人
もみじ福祉会



知的障害者授産施設(通所) 第一もみじ作業所
身体障害者通所授産施設 第二もみじ作業所
グループホーム つばさ・たんぼぼ
〒730-0823 広島県広島市中区吉島西2-1-24
TEL(082)243-0331 FAX(082)243-0497
HP: www.fukushi-momiji.or.jp

もみじ福祉会の目指すもの(骨子)

- 私たちは、障害者も含めた地域で生活するすべての人たちが、文化的で平和な環境の下、自らの心と身体、そして人生の主人公として暮らせるための総合的な権利保障を目指し、以下の事に取り組みます。
1. 仲間(利用者)の生きる力の充実と生活の質の向上を目指します。
 2. 地域の生活と福祉の向上への貢献を目指します。
 3. 事業の民主的な運営と地域の諸団体との協力・共同を大切にします。
 4. これらの実践の要となる、職員の、障害や発達保障、福祉や障害者運動についての専門性の向上につとめます。



新たな夢に向かえる喜び

もみじ福祉会 理事長
浜崎 勝

新たな年度を迎えるに当たって、念願の「グループホーム」「身障ホーム」「地域交流スペース」が順調にいけば七月着工で来年の二月にオープンできるめどがたちました。無認可のもみじ作業所時代から振り返ってみると、改めて仲間たちの「夢」を多くの人たちに支えられて実現してきたと確信できます。そして、「夢」を実現することで、また新たな元氣や勇気を奮い起こされてきたように思います。

もみじ作業所を訪ねてきた数人のしかも福祉にかかわりの深い人から「仲間たちが明るい」「元氣がある」「仲間同士がかかわりあい、やさしい」という人間として豊かに生きることにつながる感想をいただきました。確かに、もみじ作業所のさまざまな活動が「元氣」のもとになっているのだと思います。

もちろん、もみじ作業所にも様々な課題があります。「支援費制度」に変わることによる運営・財政上の課題もそのひとつです。また、生活支援事業など新たな事業を興すことも不可欠な課題です。

仲間の新たな仕事おこしや仕事の内容を充実させていくことと併せた日常的な文化活動も大切です。また、昨年の所内事故の反省に立ち安全の徹底も大きな課題です。

どちらにしても様々な課題を「不満」としてくすばらすのではなく、「要求」から「夢↓かたち」につなげていくために力を合わせましょう。

そして、「もみじ作業所」にかかわる人たちが「もみじ作業所にかかわってよかった」と思い「人間らしく生きる」先導者として明るく元氣な仲間でありたいと思っています。

夢太鼓こんさーと

職員御礼



昨年十二月十五日(日)に、アステールプラザ中ホールにて開催した「打ちならそう! 夢太鼓こんさーと」は、多くの皆様のご協力を受け、大成功を納めることができました。当日は立ち見のお客様が出るほど、本当にたくさんの方が見に来て下さいました。

このコンサートはこの紙面でお伝えしてきましたように、プロ太鼓打ちの今福優さん、太鼓サークル慈音、そして、もみじ作業所の仲間・親・保護者・関係者で結成されたもみじ一〇〇人太鼓が出演しました。今福さんたちの、伝統文化を守ってこれられた本物のプロの凄さ、熱き思い、そして慈音さんたちの素晴らしいチームワークによる太鼓演奏に、見に来られたお客様が引きつけられていました。

そして、最後はもみじ一〇〇人太鼓のステージでした。今福さんのオリジナル曲「石見舞太鼓」を昨年の八月から練習を重ねてきたのですが、初めて太鼓をたたくという人がたくさんいる中で、本番までに上手いのかと正直不安でした。しかし、今福さんや慈音さんの熱心な指導やもみじ関係者の太鼓にかける思いが結集して、本番ではこれまでの練習の成果を発揮でき、大成功しました。一人一人のいろんな夢や思いを太鼓で表現することができ、お客様からは「今

まで見たコンサートの中で一番よかった」「仲間の太鼓を打つ姿に感激しました」など多くの感想をよせて頂きました。そして、私たち関係者も「第一回ともだちコンサートの感激を思い出した」という声が多くあり、本当に感激しました。私たちはこの「夢太鼓こんさーと」から大きなパワーを得ることができました。そして、太鼓演奏のように心を一つにこれからの夢実現にむかって頑張っていきたいと思えます。

今福さん、本当にありがとうございました。



また、このコンサートの収益、約二〇〇万円を「身障ホーム・グループホーム・地域交流スペース」建設資金として使わせて頂きます。本当にありがとうございました。



みんなの熱い思いを 太鼓にたくして ドンドンソーレ!



～身障ホーム グループホーム・地域交流スペース～
「夢トピア」建設一歩前進

夢に向かって
一歩前進

身障ホーム・グループホーム建設にむけての予算が、今年度(平成14年度)の補正予算で執行される事がほぼ決まりました。1月16日には国協議にかけて頂き、受理された旨の報告を受けましたが、最終的には市の補正予算が議会で通って、国からの認可が降りないと決定とはならないようです。しかし、まずは建設にむけてまた大きく一歩前進した事は間違いありません。
実務的にはあと医療事業団からの融資を受けるための申請書提出が残っていますが、2月中に提出予定で準備しているところです。

自立にむけて

ホームは、終の住処として、また、一人ぐらしにむけての体験の場として、いろいろな役割や目的を持つように思います。仲間一人ひとりが、自立について向かい合える場であればと思います。そのためにも運営の安定は必須では有りますが、身障ホームの年間補助金が380万程度、グループホームが600万～700万程度の補助金では、いろいろな事業展開の中での運営を考える必要があったり、仲間の豊かな生活を保障するための制度活用など職員体制や利用負担の問題も含めてまだまだこれから詰めていかなければいけない事もたくさんあります。

春風が
もみじに
夢を
はこぶ時

夢を膨らませ

ホームでの生活に夢をさせながら、「部屋の冷蔵庫には大好きなアイスクリームを入れておこう」「インターネットが使えるようにしてほしい」「自分でできる事は自分でやりたい」など入所予定者の人たちの声や保護者の人たちとの話し合いを重ね、日常生活を想定しての部屋の作りや仕様についてなど実施設計の詰め作業も行っています。
また、3階の地域交流スペースの利用についても将来の利用の仕方を想定したり、利用希望者の声も聞きながら今後検討を重ねていきたいと思っています。

緊急一時
ショートステイ

介護者の急病・急用などの緊急時やレスパイトとして利用できます。(1F身障ホーム付設)

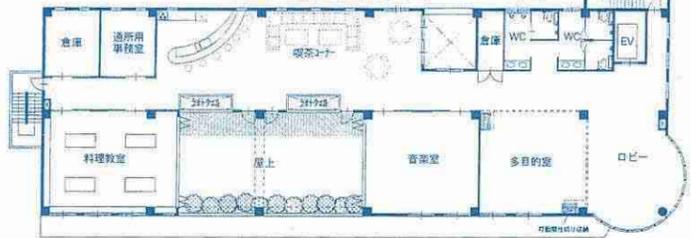
資金作りを

8500万円借入をおこして建設計画を立てていますが、借金は少ないに越した事はなく、夢をかたちに委員会(仲間の会で資金作り取り組んでいる会)では、1月、2月に休止していた街頭カンパ活動を3月からやり始める計画を行ったり、夢作り応援団では、引き続き応援団員の呼びかけや学習会なども計画しながら、多くの市民の方に理解と支援を訴えていきたいと考えています。
ご支援、ご協力のほどよろしく
お願いいたします。

どんなに障害が重くても、一人の人間として安心して過ごせる場、楽しくて友達たくさんいて、にぎやかに過ごしたい! 3階の地域交流スペースは地域の住む色んな人に利用してもらいたい。
人とつながり、
人として、
生きていきたい!

3階

地域交流スペース



板 おねがい

ウエスの材料欲しいな~! by 軽作業グループ

古着や古タオル、シーツなどを切って作るウエスはたくさんの注文を頂き、順調に売り上げをのばしています。そこで、問題となるのが材料の確保! とくに今、トレーナーなど厚手の布が不足しています。
シャツやタオル、シーツはもちろんのこと、トレーナーなど、衣がえで不用になったもの、おまちしてま〜す。

「夢づくり応援団の集い ~夢をかたり、ひろげよう~」

日時: 2003年5月25日(日) 13:30開始(予)
場所: 西区地域福祉センター 大会議室
* 詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

「テーマは自立。~青年成人期障害者の自立を考える~」

日時: 2003年6月29日(日) 13:00開始(予)
場所: 広島県立生涯学習センター 大研修室
入場料: 1,000円

講演 「青年成人期障害者の自立とは? (仮)」
講師 加藤 直樹 (立命館大学教授)

シンポジウム
「テーマは自立。~青年成人期障害者の自立を考える~」
* シンポジストには、実際に、地域の中で生活を送っている障害者を持った方にお越しいただく予定です。

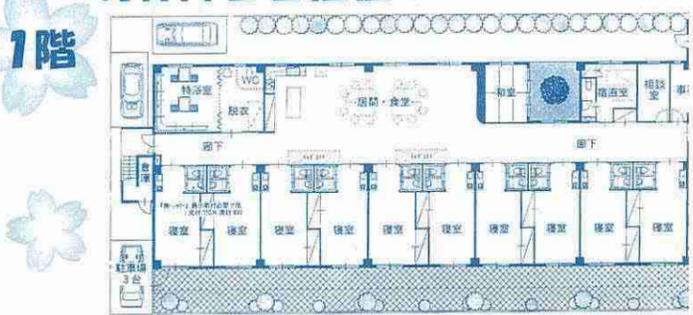


輝くパワー
いつまでも!

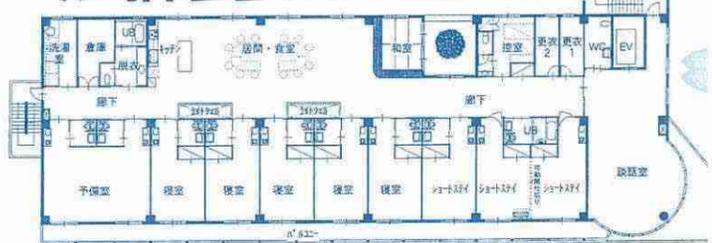
広島YMCA健康福祉専門学校
馬屋原 昭代 さん

私をはじめでもみじ作業所の皆さんと出会ったのは、もう十年以上も前のことです。もみじ作業所が西区小河内にあった頃で、とても狭くて、暑い所でした。学生と見学に行き、作業を教えてもらいました。皆さん、のりまみれになって、ダンボールの作業を大変手際良くされていたのを今でもはっきり覚えています。一年に一度は、学生とおじゃましました。
私がはじめてもみじ作業所の皆さんと出会ったのは、もう十年以上も前のことです。もみじ作業所が西区小河内にあった頃で、とても狭くて、暑い所でした。学生と見学に行き、作業を教えてもらいました。皆さん、のりまみれになって、ダンボールの作業を大変手際良くされていたのを今でもはっきり覚えています。一年に一度は、学生とおじゃましました。
五年前からは、三年生の学生とクラブ活動のお手伝いをするようになり、わたしはスポーツA(水泳)の皆さんといっしょに活動してきました。水の中をひたすら歩く人、休むことなく泳ぐ人、ビート板や浮輪を使ってバタ足をする人、イルカのようになだだだ潜る人、快適、快適とプカプカと浮いている人。皆さんそれぞれの方法で開放的な水の感触を思いっきり楽しんでおられます。私もこんな水泳が大好きです。
また、夏の販売やバレンタインの頃には、「できるだけ皆さんのポナスが揃えたいいな」と願って同僚に協力して

身体障害者福祉ホーム



知的障害者グループホーム



来年度の開所を目指して

今年度（平成14年度）の補正予算で執行される事となると、来年度中の建設着工と完了、身障ホーム「夢トピア」・グループホーム「夢トピア」地域交流スペース「夢トピア」のオープンという運びになります。私たちの長年の夢が、実現するのにもうすぐそこです。来年の今頃は開所の報告が出せるようにがんばりたいと思いますので、皆さんよろしくお祈りします。

スキルUPを 目ざせ!

研・修・報・告

◆講演◆
「仕事おこし
商品開発と販売展開」
を聞いて

講師・寺田孝明先生
(滋賀県社会就労事業振興センター)

Q なぜ商品を開発し販売する
のか?

こんな質問で講演は始まりま
した。

A) 簡単に言えば、良い商品を
開発し、しっかり稼ぐとい
うことなのでしょう。

では、売れる商品をどう開発
し、販売していくのでしょうか。
●とりあえず商品はできたけれ
ど。

●消費者のニーズはあるの?
●できちゃった商品を作ってい
ませんか?

寺田氏は①いつ（販売時期）、
②どこで（イベント、店舗等）、
③誰（ターゲットの消費者）、
④何を（商品）、⑤なぜ（商品
のニーズや市場調査の裏付け）、
⑥どのように（販売手段）とい
った一連のストーリーのある商
品開発が必要である。また、開
発過程で徹底したコスト意識も
強調されました。新会計基準が
導入され減価償却費の計上など
が必要になる福祉施設においても
職員一人一人に企業並のコスト
意識が求められるでしょう。

さらに、寺田氏は、開発され
た商品もラッピングで損をして
いないか。せっかく、無添加、
無着色で体にやさしいクッキー
を作っても、その商品価値をし
っかりと消費者にアピール出来

なければ...。消費者の購買意欲
を決定づけるのは五感。特に、
その90%は視覚だということだ
した。

消費者のニーズに合った商品
を、いかにして開発し販売して
いくか。商品を作っていく上で、
当然考慮しなくてはならない事
ですが、自分自身商人意識が足
りなかったように思います。

もみじ作業所でも、仲間の給
料アップのため「仕事おこし」
を最重要課題の一つとして取り
組んでいます。仲間の要求、発
達課題をふまえながら、今回の
講演を胆に命じて新しい商品の
開発をしていこうかなと思っ
た。

(木村 忠孝)

白石先生との 発達についての研修会

二月二十一日と二十二日の二
日間にかけて、白石正久先生に
来所していただき職員で発達に
ついての研修会を開催しました。
今回で八回目になる取り組みで
す。

白石先生は、学生時代、障害
児の発達診断、障害児教育を専
攻され、右京病院（京都）発達
相談室勤務を経て、現在大阪電
気通信大学教授の職に就かれて
おられる方で、数多くの障害を
持った方達の心に寄り添い、心
の世界を見つめ続けておられる
見識豊かな先生です。

発達段階を知るとか、発達を
押さえるというのもその人を知
る上で大切な一つの要素ではあ
るが、その人の行動すべてを決
めてしまうことではなく、その

人の歴史や人格形成、人間関係
などをいかに見つけていく
ことで、仲間のみんなの心の世
界や発達の願いに寄り添うこと
の大切さについても気づかされて
います。作業所の職員として働
いていく上での原点に立ち返り、
そして職員パワーの源をいつも
この研修会でもらっています。

職員としてはとても大切な研修
会になっています。

白石先生には、昼間、仲間の
作業中の様子を見ていただき、
また、簡便な発達診断等もして
いただいた上で、仲間ひとりひ
とりの発達や課題などを討論し
ていきます。

今回は、五つの仕事グループ
から五名の仲間たちの資料が出
され、みんなで今後どのように
支援をしていくことが、その人
が豊かになることに繋がってい
くのか真剣に話し合いました。

確かに発達段階の特徴が出て
いる仲間、発達の時期に固定を

されているように見える仲間も
います。自信がなかなか持てな
い仲間もいます。でも、ひとり
ひとりの仲間の心には、「自分
も変わっていききたい」という願
いがあり、不安を持っている仲
間にもいかに支えていく取
り組みがあれば、一年二年とい
うレベルではなくてもっと息の
長い取り組みの中で心豊かに成
長していけるのではないかと
いう見通しも持てました。

また、毎年作業所に来て頂い
ている白石先生から、作業所の
集団全体がやさしい感じになっ
ており、集団の変化を確信する
という、うれしい感想も最後に
頂きました。これからも仲間の
心に寄り添った実践を積み重ね
られるよう職員集団として頑張
っていききたいと思っています。

(古城門淳子)

もみじ いろいろ 伝

あした転機にな〜れ きょうされん 第26次国会請願書名・募金活動 ご協力のおねがい

障害があっても安心して生活し、働ける社会をめざし、
皆様のご協力をお願いします。

〜もみじの仲間もがんばってます〜
さをり・縫製グループの矢野さんは、色んな知り合
いの人に出会うと「署名おねがいします」と書いて
もらっては、作業所に持ってきてくれます。
一人一人のがんばりが山となり、何万、何十万そし
て何千万名の署名となり、国会を動かすことを願っ
ています。

私たちの夢を応援して下さい

募集 夢づくり応援団

2億円の資金づくりにご協力をお願いします。

- 寄付 個人 1口 3,000円
- 団体 1口 10,000円
- 作業所に持参して
- 郵便振替 口座 夢づくり応援団 番号 01350-5-19452

●作業所に持参してもOKです。

12月	1月	2月
3日 きょうされん全国一斉がんばるデー参加 夢太鼓こんさーと実行委員：月金ライブ出演	6日 新年互礼会・大もちつき大会	1日 市立養護・作業所作品展示即売会出店
4日 もみじ作業所地域販売デー：灯火の会：プロレス招待	8日 広島女子大より見学来所	3日 江能福祉会より実習来所（～7日）
9日 もみじ福祉会第14回評議員会・第47回理事会	10日 もみじ作業所地域販売デー	4日 中島小学校教員見学来所
10日 日産労連：チャリティ公演招待	10日 グループホームたんぼぼ保護者会	5日 もみじ作業所地域販売デー
12日 クラブ活動⑥・広島市立養護学校より見学来所	15日 グループホームたんぼぼ保護者会	6日 仲間健診②・県立広島養護学校教員見学来所
14日 三井物産社内バザール出店・広商デパート委託出店	15日 広島女子大より見学来所	10日 江能福祉会より実習来所（～14日）
15日 講演会主催「打ちならそう夢太鼓こんさーと」	16日 吉島中学校生徒見学等来所	13日 吉島小学校との交流会
16日 クループホーム・クリスマス会	20日 吉島小学校6年生見学来所①	14日 南区グループホーム利用者
17日 司法修習生実習来所	21日 吉島小学校6年生見学来所②	●障害程度区分聴き取り調査
19日 自治会ひまわり会・クリスマス会	27日 広島ビジネス専門学校実習（～31日）	中区社協主催：「雪遊び」参加
20日 保護者例会	27日 もみじ福祉会第15回評議員会	エレベーター定期点検
21日 保護者忘年会（職員招待）	30日 鳥羽秀範君無年金訴訟第8回裁判	21日 広島市指導監査 白石先生学習会①
22日 夢を形に委員会：街頭カンパ活動		22日 白石先生学習会②
23日 セルフケア一歩		24日 文教女子大より見学来所
26日 仲間納会・ボーナス支給式		川崎医療福祉大学・実習来所（～3月28日）
27日 大掃除 職員・後援会忘年会		第一・第二作業所利用者
28日 全館害虫駆除作業		●障害程度区分聴き取り調査
29日 業者床ワックス作業		27日 ボーリング大会
		28日 保護者会例会

支援費ミニ情報(居宅編)

どうなる支援費

いよいよ四月から措置制度が歴史を閉じ、支援費制度(自由選択契約制度)が始まります。前号のミニ情報では「施設編」を掲載し諸問題を報告しまし

これらに居宅支援事業を利用するためには、まず、市町村に對して支給申請を行い、受給者証を受ける必要があります。この際、介護保険ではマネジメン

ホームヘルプに上限規制?

今回はもう一方の「居宅支援費」についてお知らせします。まず、「居宅支援」は身体障害者では大きく三種類(居宅介護ホームヘルプ、デイサービス、短期入所)、知的障害者では四種類(前記三つに加えて地

また、ホームヘルプサービスについては、このサービス供給の問題はもとより、一月にマスコミでも大いに騒がれたように、厚労省による「ホームヘルプサービスの上限設定方針」に對して「福祉の後退を許すな!

相談もまままだらぬ?



また、障害者の地域生活の保障の問題では、もう一点、昨年末に厚労省より出された「市町村障害者生活支援事業」や「地域療育等支援事業」など、障害者の地域生活に欠かせない「相談支援事業」の補助金を廃止し

また、障害者の地域生活の保障の問題では、もう一点、昨年末に厚労省より出された「市町村障害者生活支援事業」や「地域療育等支援事業」など、障害者の地域生活に欠かせない「相談支援事業」の補助金を廃止し

不況の長期化や国家財政の危機的状況があるとはいえ、この度の大改革が、単に国家財政削減のための改革に「変容」することなく、当初の理念である「自己決定の尊重」「利用者本位のサービス提供」を基本とする、「対等な関係」「自己選択」等をめざした真に障害者の生活自立に資する改革として具体化がは

初心忘れず 真に障害者のための改革を

「施設にもどれというのか!」と連日の抗議行動が展開されました。結果、厚労省は一月末には、

不況の長期化や国家財政の危機的状況があるとはいえ、この度の大改革が、単に国家財政削減のための改革に「変容」することなく、当初の理念である「自己決定の尊重」「利用者本位のサービス提供」を基本とする、「対等な関係」「自己選択」等をめざした真に障害者の生活自立に資する改革として具体化がは

新しいなかま



3月からもみじ作業所の仲間に加わりました! 今は、各仕事グループを体験し、どんな仕事がやりたいか考え中です。好きな仲間もでき、自分から話しかけたりして、もみじに少しずつなじみつつあります。



東田君は軽作業グループでウェス作りをしています。作業が大好きで材料がなくなると職員に早くしてくれと急がすほどです。ウェスがあつという間にできるので「がんばろうや」を読まれている会社の方、どんどん注文して下さい。

どんどん仕事をして頑張っている東田君ですが、おしゃべりも大好き。言葉はしゃべれないので手話を使っています。早くみんなも覚えて話ができるようになってね。

- ご寄付ありがとうございます
若林 早苗 様
柏原 教子 様
吉島女性会 様
雅富不動産 様
中木 様
後援会 様

毎月、暖かいはげましの言葉とともに送金して下さい。勇気を頂いています。ありがとうございます。

夢づくり応援団
毎に秋が深まって参ります。9月発行の「がんばろうや」を拝読し皆様の熱意がとてよく伝わってきました。応援させて頂くのに精がよいです。寒くなりますので、体に気を付けて。皆さん頑張ってください。

- 後援会コナニ
2002年度、後援会費を納入頂いている、個人・団体の皆様ありがとうございます。(11月~2003年1月、敬称略)
安田 藤井 宮迫 玉浦 吉村 木村 佐藤 大塚 熊谷
静子 鷹 齊 章平 公宏 忠孝 節子 貞子 雅美

- 常友 高明 今村 梶川、渡辺
瀧口 富美子 池内 孝博
川口 谷幸子 池内 宏子
雲田 光道 植田 治子
梅田 茂也 荒木 敏江
上本美由紀 永井 (川口谷)
藤葉 忠彦 水野 (川口谷)
山本 愛子 丸山 有治
中山 絹子 秋山 美子
山平 昌一 今崎 英明
井上 成修 人見 光三
木村 幸雄 東海 恵子
平田 洋子 鳥羽 智子
占部 久美子 近藤 弦子
栗本 由香里 佐々木 暉美子
是松 渡會 谷岡 満子
仁井 肉屋 高畑 優子
大津 忠彦 高畑 正直
深見 啓子 市村 三雄
坂元 恵子 片山 辰生
坂口 ユリ子 宮迫 芳枝
時村 智子 田村 健二
中野 健二

- グループホーム・身障ホーム合築施設建設支援
夢づくり応援団へのご寄付
ありがとうございます。
(2002年11月1日~2003年1月31日まで 敬称略)
高美 直行
倉橋 玉実
永井 郁江
江島 勝美
古城門 淳子
佐倉 敏美
北谷 優子
藤葉 祐造
がんぼ
虹の会文化祭
江波の梅木(木村)
タナカ企画宝くじプロジェクト
たかだりゅうじ
歌づくり30年コンサート実行委員会
広島女学院中高YMCA部
吉島小バザー
エヴァマインド
よしの味噌(株)
自治会ひまわり会
北部デイサービス
夢太鼓コンサート
モンテカルロ吉島店
事務所前カンパ箱
グループホーム一同